



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 株式会社KYORITSU 上場取引所 東
 コード番号 7795 URL <https://www.kyoritsu-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 田坂 優英 (TEL) 03-5248-5550
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,899	9.9	220	△22.0	214	△20.3	491	196.8
2025年3月期第1四半期	9,010	△7.6	282	△26.1	268	△27.5	165	△31.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △134百万円(△164.4%) 2025年3月期第1四半期 208百万円(△18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	11.31	—
2025年3月期第1四半期	3.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	41,604	17,162	41.3
2025年3月期	42,270	17,643	41.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 17,162百万円 2025年3月期 17,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,150	11.1	570	2.4	530	3.9	840	205.4	19.19
通期	42,300	4.8	1,510	20.9	1,440	25.7	1,100	53.7	25.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	49,235,000株	2025年3月期	49,235,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	6,556,550株	2025年3月期	5,556,550株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	43,428,450株	2025年3月期1Q	43,828,450株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境に引き続き改善傾向は見られるものの、ウクライナや中東情勢の地政学的リスクが続くなか、米国の関税政策の不確実性なども重なり、先行き不透明な情勢が続いております。

このような状況下にあつて当社グループは、成長事業と据えている情報デジタル事業において、当期5月よりWEBマーケティングやデジタル広告を行う株式会社M&Cをグループ会社化することで既存事業とのシナジー創出に取り組んでおります。またBPO事業におきましては、当期4月より大手量販店の店舗消耗資材の保管発送業務を本格的に請負い始めました。しかし、プリントメディア事業で折込チラシ等の受注量が減少したことに加えて、デジタルコミック制作の受注量が落ち着いたこともあり、利益率が低下しております。第2四半期以降は、既存事業のコスト削減施策を進めるとともに、グループ会社シナジーを強化することで収益の改善に努めてまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年同四半期と比べ8億8千8百万円(9.9%)増収の98億9千9百万円、営業利益は6千2百万円(22.0%)減益の2億2千万円、経常利益は5千4百万円(20.3%)減益の2億1千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千5百万円(196.8%)増益の4億9千1百万円になりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①情報デジタル事業

購買履歴に基づくデジタル印刷を活用したダイレクトメールに加えて、前期にテレビ通販制作会社や広告代理店、当期にWEB広告会社をグループ会社化したことで、一連の広告媒体を一括して提案できる体制を整えました。

個人情報やマーケティング分析を活用したダイレクトメールは、引き続き需要が高く、新規に連結対象となったグループ会社の影響もありましたが、デジタルコミック制作の受注量が落ち着いたこともあり、売上高は、24億3千7百万円(前年同四半期比8億4千5百万円増収)、セグメント利益は1億8百万円(前年同四半期比1千8百万円減益)になりました。

今後は、グループの相乗効果を発揮させることで、販促サービスのさらなる強化に努めてまいります。

②プリントメディア事業

印刷媒体が縮小基調にある中、新規受注の獲得や内製化強化による外注加工費の削減など生産性向上に努めたものの、前期にあった大型の販促媒体の受注減に伴う減収を取り返すまでには至らず、売上高は、69億1千8百万円(前年同四半期比1億9百万円減収)、セグメント利益は1億3千9百万円(前年同四半期比2千5百万円減益)になりました。

引き続き、内製化率の向上を図りつつ、新規取引先の獲得に向けて営業活動を強化してまいります。

③環境事業

RPFサーマルリサイクルや擬木などのマテリアルリサイクルといったプラスチックリサイクル事業は、市場環境の拡大に合わせた新規受注拡大などにより増収増益となり、また生分解性プラスチック事業につきましても、新規受注の獲得と製造コストの削減などにより増収増益となったことで、売上高は、3億4千4百万円(前年同四半期比1千8百万円増収)、セグメント利益は4千1百万円(前年同四半期比3百万円増益)になりました。

今後も、既存事業の拡大や生産効率を向上させるとともに、M&A等による事業領域の拡大や取扱いエリアを広げることで事業拡大を目指してまいります。

④BPO事業

店舗消耗品の在庫保管発送業務の取扱店舗数増加と取扱品目の増加に伴い、売上高は、1億9千8百万円(前年同四半期比1億3千4百万円増収)、セグメント利益は1千7百万円(前年同四半期比1千6百万円増益)になりました。

今後はさらに、既存倉庫とグループの販売ネットワークを活かした保管発送業務の営業活動にも注力してまいります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%増加し、197億2千5百万円となりました。これは、受取手形や売掛金が減少したものの現金及び預金が増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、218億7千8百万円となりました。これは、投資有価証券の減少や建物及び構築物、リース資産を償却したことなどによります。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、416億4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.1%減少し、138億2千3百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が増加したものの支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ5.5%増加し、106億1千8百万円となりました。これは、繰延税金負債やリース債務が減少したものの長期借入金が増加したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、244億4千2百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、171億6千2百万円となりました。これは、利益剰余金は増加したものの、自己株式を取得したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、利益率の高い情報デジタル事業と環境事業において適切な設備投資と積極的なM&Aに取り組むとともに、プリントメディア事業において売上高及び営業利益の維持と、BPO事業における既存倉庫を活用した保管発送業務の受注促進に努めることで企業価値向上に取り組んでまいります。

2026年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高423億円、営業利益15億1千万円、経常利益14億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,222,899	10,684,311
受取手形	474,832	179,909
売掛金	6,524,990	5,722,115
電子記録債権	1,343,308	1,484,976
棚卸資産	1,138,443	1,149,661
その他	656,816	535,008
貸倒引当金	△31,319	△30,352
流動資産合計	19,329,971	19,725,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,784,769	5,600,628
土地	7,421,209	7,421,209
リース資産（純額）	1,387,196	1,304,584
その他（純額）	2,274,654	2,246,977
有形固定資産合計	16,867,831	16,573,400
無形固定資産		
のれん	1,286,081	1,403,271
その他	206,296	202,392
無形固定資産合計	1,492,378	1,605,664
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	10,853	15,106
その他	4,610,795	3,726,479
貸倒引当金	△41,798	△41,795
投資その他の資産合計	4,579,851	3,699,792
固定資産合計	22,940,061	21,878,856
繰延資産	106	339
資産合計	42,270,139	41,604,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,609,105	2,985,292
電子記録債務	3,814,423	3,663,516
1年内返済予定の長期借入金	4,299,937	4,371,592
リース債務	499,543	464,967
未払法人税等	372,853	312,698
賞与引当金	202,118	220,753
その他	1,763,474	1,804,983
流動負債合計	14,561,455	13,823,805
固定負債		
長期借入金	7,859,482	8,546,354
リース債務	1,116,355	1,053,640
繰延税金負債	118,558	31,118
退職給付に係る負債	903,411	920,901
資産除去債務	37,179	37,349
その他	30,353	29,238
固定負債合計	10,065,340	10,618,602
負債合計	24,626,795	24,442,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,393,842	3,393,842
資本剰余金	3,394,528	3,394,528
利益剰余金	10,748,252	11,064,809
自己株式	△1,008,080	△1,180,080
株主資本合計	16,528,542	16,673,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,051,771	426,475
退職給付に係る調整累計額	63,028	62,844
その他の包括利益累計額合計	1,114,800	489,320
純資産合計	17,643,343	17,162,419
負債純資産合計	42,270,139	41,604,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,010,409	9,899,084
売上原価	7,978,922	8,810,816
売上総利益	1,031,487	1,088,268
販売費及び一般管理費	748,994	867,805
営業利益	282,493	220,463
営業外収益		
受取配当金	25,917	39,955
その他	2,461	4,870
営業外収益合計	28,378	44,825
営業外費用		
支払利息	38,894	43,768
その他	3,123	7,184
営業外費用合計	42,017	50,953
経常利益	268,854	214,335
特別利益		
固定資産売却益	349	281
投資有価証券売却益	—	918,432
特別利益合計	349	918,713
特別損失		
固定資産除却損	—	139,711
減損損失	—	72,571
その他	1,243	423
特別損失合計	1,243	212,706
税金等調整前四半期純利益	267,960	920,342
法人税等	101,486	429,071
四半期純利益	166,474	491,270
非支配株主に帰属する四半期純利益	936	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	165,537	491,270

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	166,474	491,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,112	△625,296
退職給付に係る調整額	1,770	△184
その他の包括利益合計	41,882	△625,480
四半期包括利益	208,356	△134,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,420	△134,209
非支配株主に係る四半期包括利益	936	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	情報デジタル 事業	プリントメ ディア事業	環境事業	BPO事業	合計		
売上高							
顧客との契約か ら生じる収益	1,591,842	7,028,554	326,525	63,487	9,010,409	—	9,010,409
外部顧客への売 上高	1,591,842	7,028,554	326,525	63,487	9,010,409	—	9,010,409
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	153	—	9,406	—	9,559	△9,559	—
計	1,591,995	7,028,554	335,931	63,487	9,019,969	△9,559	9,010,409
セグメント利益	126,542	164,906	37,330	1,680	330,460	△47,967	282,493

(注) 1. セグメント利益の調整額△47,967千円は、全社収益58,899千円、のれん償却額△28,533千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,332千円が含まれています。なお、全社収益はグループ会社からの経営指導料等であり、全社費用は当社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	情報デジタル 事業	プリントメ ディア事業	環境事業	BPO事業	合計		
売上高							
顧客との契約か ら生じる収益	2,437,456	6,918,903	344,679	198,045	9,899,084	—	9,899,084
外部顧客への売 上高	2,437,456	6,918,903	344,679	198,045	9,899,084	—	9,899,084
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	67	—	8,016	—	8,083	△8,083	—
計	2,437,523	6,918,903	352,695	198,045	9,907,168	△8,083	9,899,084
セグメント利益	108,449	139,376	41,003	17,761	306,591	△86,128	220,463

(注) 1. セグメント利益の調整額△86,128千円は、全社収益61,476千円、のれん償却額△46,051千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△101,553千円が含まれています。なお、全社収益はグループ会社からの経営指導料等であり、全社費用は当社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	376,957千円	362,523千円
のれんの償却額	28,533千円	46,051千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。